



H.248.1 v3 サポート

この拡張によって、DBE と、H.248.1 バージョン 3 またはメディア ゲートウェイ コントローラ (MGC) バージョン 3 を必要とする SBE との相互運用ができるようになります。DBE は H.248 バージョン 2 から 3 までを受け入れるようになりました。バージョン 3 をサポートするように DBE を設定した後は、DBE は MGC との間での、それより低いバージョンのネゴシエーションを拒否するようになります。

H.248.1 v3 サポートの機能履歴

リリース	変更内容
リリース 3.5.0	このコマンドは Cisco CRS-1 に初めて追加されました。

内容

このモジュールの構成は次のとおりです。

- [「H.248.1 v3 サポートの制約事項」 \(P.381\)](#)
- [「H.248.1 v3 サポートに関する情報」 \(P.381\)](#)
- [「H.248.1 v3 サポートの設定方法」 \(P.382\)](#)
- [「その他の関連資料」 \(P.383\)](#)

H.248.1 v3 サポートの制約事項

- H.248.1 v3 をサポートするように DBE が設定されている場合は、MGC がそれより低いプロトコルバージョンにネゴシエーションしようとしても拒否されます。

H.248.1 v3 サポートに関する情報

この拡張によって、DBE と、H.248.1 v3 またはメディア ゲートウェイ コントローラ (MGC) バージョン 3 を必要とする SBE との相互運用ができるようになります。DBE は H.248 バージョン 2 から 3 までを受け入れるようになりました。

SBE との通信時に、DBE は ServiceChange 要求で H.248.1 バージョン 3 のアドバタイズを行い、SBE からの Service Change 応答で受け取ったバージョンを確認します。SBE がサポートするバージョンが、アドバタイズされたものより低い場合は、DBE はイベントをログに記録して、その SBE との接続

を切断し、別の SBE を試行します。これを、H.248.1 v3 をサポートする SBE が見つかるまで続けます。MG-Abstraction Layer エンティティ MIB に新しいフィールド `bcaGalEntMegacoVersion` が追加されます。このフィールドは、`bcaMegacoV2`（デフォルトのバージョン 2）または `bcaMegacoV3` に設定できます。DBE はそれ以降の H.248.1 バージョン ネゴシエーションを行いません。

H.248.1 v3 サポートの設定方法

ここでは、H.248.1 v3 サポートの設定手順を示します。新しい `h248-version` コマンドで、H.248 プロトコルのバージョンを定義します。DBE は H.248 コントローラとのアソシエーションを形成するときに、このバージョンを使用します。

H.248.1 v3 サポートの設定

手順の概要

1. `configure`
2. `sbc service-name`
3. `dbe`
4. `vdbe [global]`
5. `h248-version version`
6. `commit`
7. `exit`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>configure</code> 例： RP/0/0/CPU0:router# <code>configure</code>	グローバル コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。
ステップ2	<code>sbc service-name</code> 例： RP/0/0/CPU0:router(config)# <code>sbc mysbc</code>	SBC サービスのモードを開始します。 • <code>service-name</code> 引数を使用して、SBC の名前を定義します。
ステップ3	<code>dbe</code> 例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc)# <code>dbe</code>	SBC の Data Border Element (DBE) 機能のモードを開始します。
ステップ4	<code>vdbe [global]</code> 例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe)# <code>vdbe</code>	仮想 DBE (vDBE) パラメータを設定するモードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ5 h248-version <i>version</i> 例: RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe-vdbe)# h248-version 3	H.248 プロトコルのバージョンを定義します。DBE は H.248 コントローラとのアソシエーションを形成するときにこのバージョンを使用します。 このコマンドの no 形式を使用すると、H.248 プロトコルはデフォルトのバージョン 2 のままになります。 <ul style="list-style-type: none"> version : 使用するプロトコルバージョンを定義します。有効値は 2 および 3 です。デフォルトは 2 です。 左に示した例のコマンドは、H.248 バージョン 3 を使用するように vDBE を設定します。設定後は、それより下位のバージョンへのネゴシエーション試行はすべて拒否されます。	
ステップ6 commit 例: RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe-vdbe-h248-version)# commit	設定変更を保存します。実行コンフィギュレーションファイルに変更を保存し、コンフィギュレーションセッションを継続するには、 commit コマンドを使用します。	
ステップ7 exit 例: RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe-vdbe-h248-version)# exit	現在のコンフィギュレーションモードを終了します。	

その他の関連資料

次の各項では、H.248.1 v3 サポートに関連する参考資料を示します。

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS XR マスター コマンド リファレンス	『Cisco IOS XR Master Commands List』
Cisco IOS XR SBC インターフェイス コンフィギュレーション コマンド	『Cisco IOS XR Session Border Controller Command Reference』
Cisco IOS XR ソフトウェアを使用するルータを初回に起動し設定するための情報	『Cisco IOS XR Getting Started Guide』
Cisco IOS XR コマンド モード	『Cisco IOS XR Command Mode Reference』

標準

標準	タイトル
この機能でサポートされる新規の標準または変更された標準はありません。また、既存の標準のサポートは変更されていません。	—

MIB

MIB	MIB のリンク
—	<p>Cisco IOS XR ソフトウェアを使用して MIB の場所を特定してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用して、[Cisco Access Products] メニューからプラットフォームを選択します。</p> <p>http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml</p>

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのテクニカル サポート Web サイトでは、製品、テクノロジー、ソリューション、技術的なヒント、およびツールへのリンクなどの、数千ページに及ぶ技術情報が検索可能です。Cisco.com に登録済みのユーザは、このページから詳細情報にアクセスできます。	http://www.cisco.com/en/US/support/index.html